

素足で走れる町屋海岸

地域とともに、海岸環境を考える



三重大学人文学部文化学科・教授
 三重大学学長補佐(環境ISO担当)
朴 恵淑 PARK, Hye-Sook
 [URL] <http://faculty.human.mie-u.ac.jp/~park/>
<http://www.iso.mie-u.ac.jp/student/>

町屋海岸にて

◎環境先進大学

三重大学は、日本の大学の中で海(町屋海岸)に最も近く、空の翠(みどり)、樹の翠、波の翠の三翠に恵まれ、優れた自然環境を守りながら持続可能な地域社会を担う「環境先進大学」を目指しています。平成19年11月に環境先進大学への第一歩として全5学部が一括してISO14001認証を取得し、学生が中心となって環境マネジメントシステムを創り、様々な環境活動を行っています。

◎翠をまもる環境活動

町屋海岸は、不法投棄されたごみが散乱しているため、三翠の海とはほど遠い状態です。「素足で走れる町屋海岸」をスローガンに、三重大学生、教職員、地域住民(町屋百人衆)、小学校(北立誠小学校)、企業(中部電力)、行政(三重県、津市)からなる共同体をつくり、平成17年7月から町屋海岸クリーンアップ活動に積極的に取り組んでいます(図1)。

次世代を担う子どもたちに環境学習を行うことは、私たちの世代と将来の世代が問題意識を共有する良い機会となります。そ

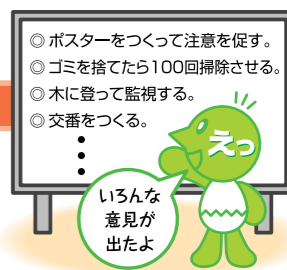
図1 町屋海岸清掃活動

- 1 **地域住民が一緒になって清掃**
参加者は毎回100名以上
- 2 **ゴミの分別**
一回の清掃でゴミ袋120袋分のゴミが集まります。
- 3 **ゴミを回収**
- 4 **とてもキレイな町屋海岸**



図2 北立誠小学校での環境学習

- 1 環境ISO学生委員会の学生が町屋海岸の現状について説明する。
- 2 町屋海岸をキレイにするには? グループに分かれて意見を出し合う。
- 3 意見を画用紙に書き込む。
- 4 グループごとに発表を行う。



こで、私たちは北立誠小学校の6年生に町屋海岸のごみの現状を教えています。子どもたちがキレイにする方法を考え、話し合い、様々な意見を出します。この学習の成果として、町屋海岸には、この子どもたちが描いてくれた不法投棄防止を呼びかける看板があります(図2)。今後も引き続き、北立誠小学校の児童と共に海岸清掃やごみの調査を行い、不法投棄をなくす呼びかけの看板を多数設置する予定です。

◎未来への仕組みづくり

今年度は、定期的な町屋海岸清掃の実施とともにごみ分析を行い、どの種類のごみがどこで発生しているのかを突き止める作業を行っています。そして町屋海岸の現状をより詳しく把握し、産学官民が協働で不法投棄問題を解決するための仕組みづくりを進めています。この仕組みには、環境を守るためには規制が必要と考えるだけでなく、町屋海岸がみんなの共有財産であるとの認識を高めるねらいがあります。「環境先進大学」として三重大学はこのような未来への仕組みづくりに積極的に関わることで、社会的責任(USR)を果たします。